



がんの予防や治療などについて
 専門家が解説した「がんとう
 医療フェスタ」のミニ講演

手術ロボや病院食紹介 札幌でフェスタ

「北海道がんと闘う医療フェスタ2017」が9月30日、北海道がんセンター(札幌市白石区)で開かれた。がん予防や治療に関するミニ講演、手術室などの見学、病院食の試食、相談会などが行われ、来場した500人以上の市民や患者が、がん

やがん医療への理解を深めた。

都道府県がん拠点病院の道がんセンターと道が、北海道がん征圧・がん検診受診促進月間(9~10月)に毎年、開いている。

ミニ講演では、原林透・高度先進内視鏡外科センター長(泌尿器科)

が、手術支援ロボット「ダヴィンチ」について解説。「(手術部位を)3次元の画像で見ることができ、(器具を付けた)アームの先がほぼ自由に細かく動き、ふれない」と利点を挙げた上で、同センターでは保険適用の前立腺がんや、腎臓がんの部分切除のほか、保険適用でない子宮頸がん、胃がんの手術に活用

していると話した。

また、高橋将人・副院長(乳腺外科)は、肺がんだけでなくほとんどのがんの原因となるたばこについて解説。「北海道は全国に比べがんを命を落とすやすく、喫煙者が多い地域。がん予防の1番はたばこを吸わないこと」などと訴え、禁煙と受動喫煙防止を呼びかけた。